

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神医学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期	後期	教室名	603教室
担 当 教 員	林 亜遊				
実務経験とその関連資格	実践:作業療法士として精神科病院に5年間勤務。統合失調症や気分障害患者の精神科リハビリテーションに従事。地域における作業療法を15年以上にわたって実践。 資格:認定作業療法士、教育修士(専門職)・認定医学教育専門家。 学会:日本作業療法士協会・世界作業療法連盟・日本医学教育学会・日本作業療法教育学会会員。 役員:作業療法と生活リスクコミュニケーション学会理事・日本作業療法教育学会理事。				
《授業科目における学習内容》					
国家試験出題基準を中心に、医学と健康の問題にとどまらず、社会問題にも触れながら学んでいきます。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験60％ レポート40％					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
New Simple Step 精神科					
《授業外における学習方法》					
授業後には、レベルアップした書籍を読んだり、新聞雑誌等でも意識して読んでみましょう。					
《履修に当たっての留意点》					
①国家試験出題レベルの精神医学の知識を身に付けましょう。 ②精神医学の観点から私たちの生活を捉え、精神医学の活用を考えましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	精神医学の観点から精神障害を捉える。	New Simple Step 精神科・配布資料	授業内容を振り返り、レポートとしてまとめておいてください。	
	各コマにおける授業予定	伝統的な分類・心理検査と評価尺度・治療			
第2回	授業を通じての到達目標	精神症状について説明できる。	New Simple Step 精神科・配布資料	授業内容を振り返り、レポートとしてまとめておいてください。	
	各コマにおける授業予定	精神症候群			
第3回	授業を通じての到達目標	物質依存の症状と治療について説明できる。	New Simple Step 精神科・配布資料	授業内容を振り返り、レポートとしてまとめておいてください。	
	各コマにおける授業予定	物質関連障害			
第4回	授業を通じての到達目標	統合失調症の症状と治療について説明できる。	New Simple Step 精神科・配布資料	授業内容を振り返り、レポートとしてまとめておいてください。	
	各コマにおける授業予定	統合失調症			
第5回	授業を通じての到達目標	双極性障害・抑うつ障害群の症状と治療について説明できる。	New Simple Step 精神科・配布資料	授業内容を振り返り、レポートとしてまとめておいてください。	
	各コマにおける授業予定	双極性障害・抑うつ障害群			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	神経症性障害の症状と治療について説明できる。	New Simple Step 精神科・配布資料	授業内容を振り返り、レポートとしてまとめておい てください。
	各コマにおける授業予定	神経症性障害		
第 7 回	授業を通じての到達目標	パーソナリティー障害の症状と治療について説明できる。	New Simple Step 精神科・配布資料	授業内容を振り返り、レポートとしてまとめておい てください。
	各コマにおける授業予定	パーソナリティー障害群		
第 8 回	授業を通じての到達目標	ひとと精神医学の関係について説明できる。	New Simple Step 精神科・配布資料	授業内容を振り返り、レポートとしてまとめておい てください。
	各コマにおける授業予定	精神医学と社会		
第 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			